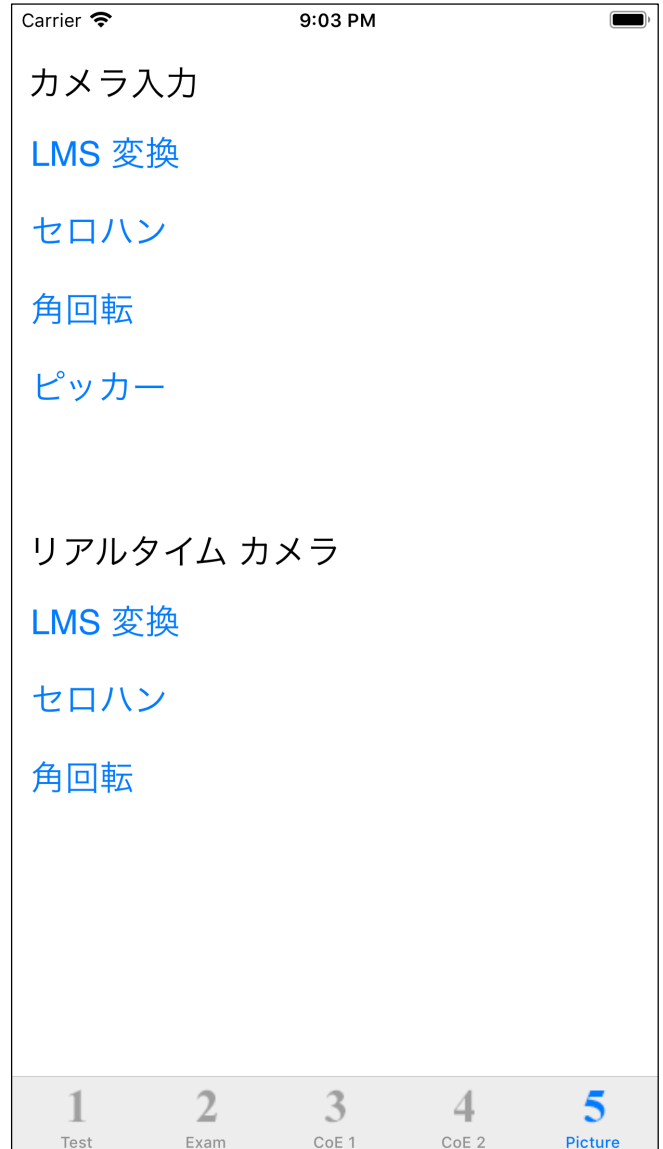
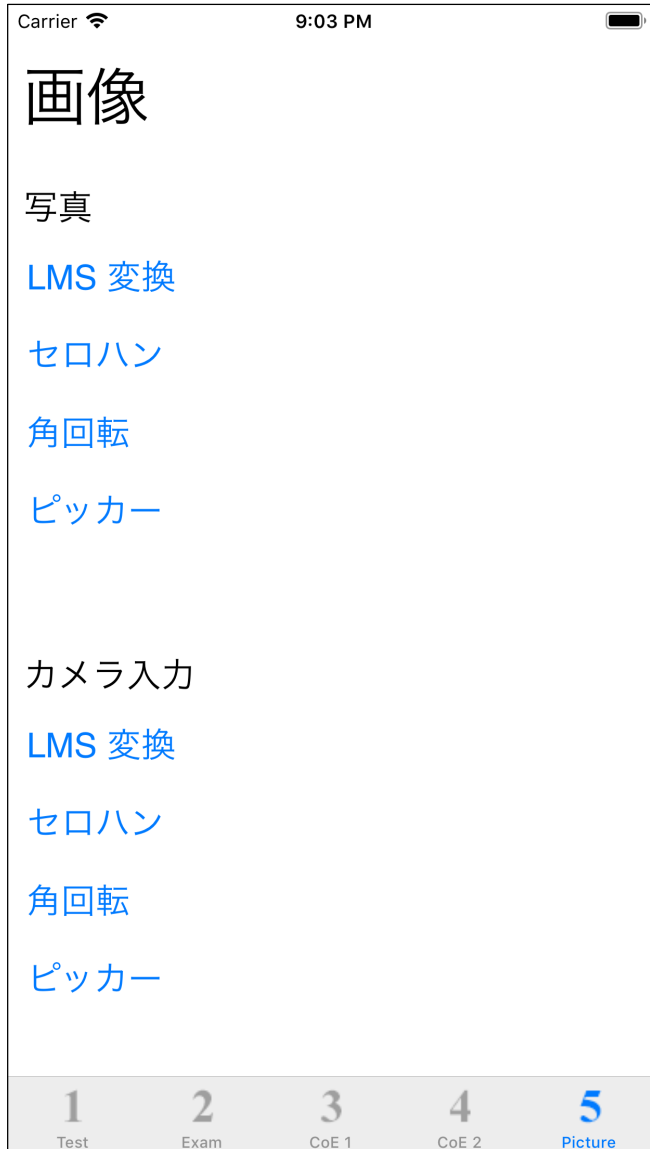


カメラ入力、リアルタイムカメラ

(このヘルプは、ver.1.2 のもののままです。)



画像の、カメラ入力、リアルタイムカメラは、画像の入力源がカメラになります。

何か、実行ボタンを押すと、画面がカメラになります。

iPhone/iOS のカメラ、カメラプログラミングの知識、経験があまりないために、カメラ入力、リアルタイムカメラコマンドは、出来のよいものではありません。

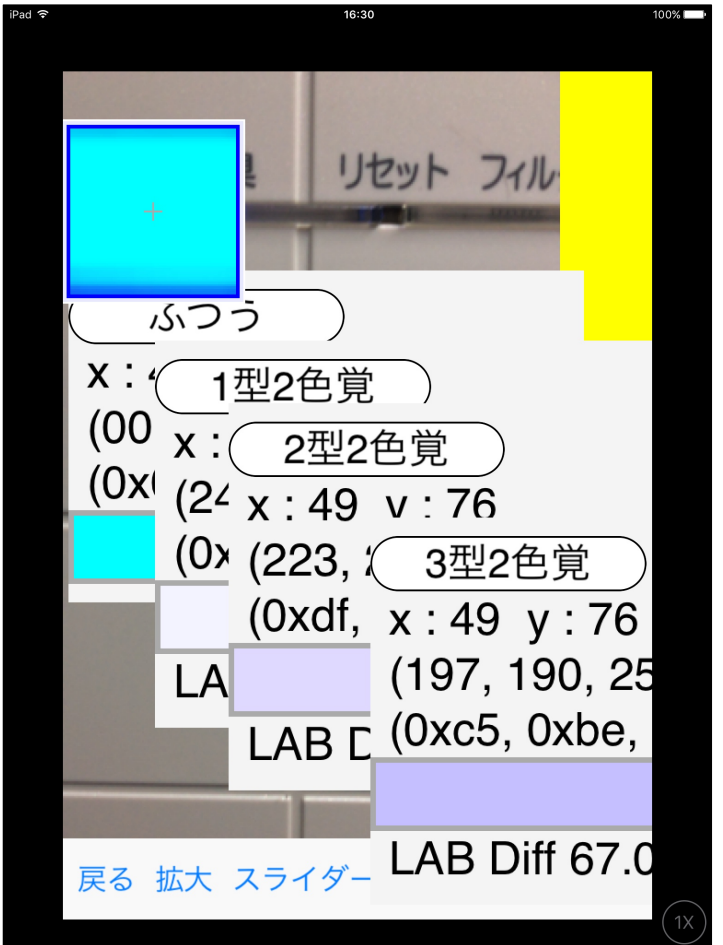
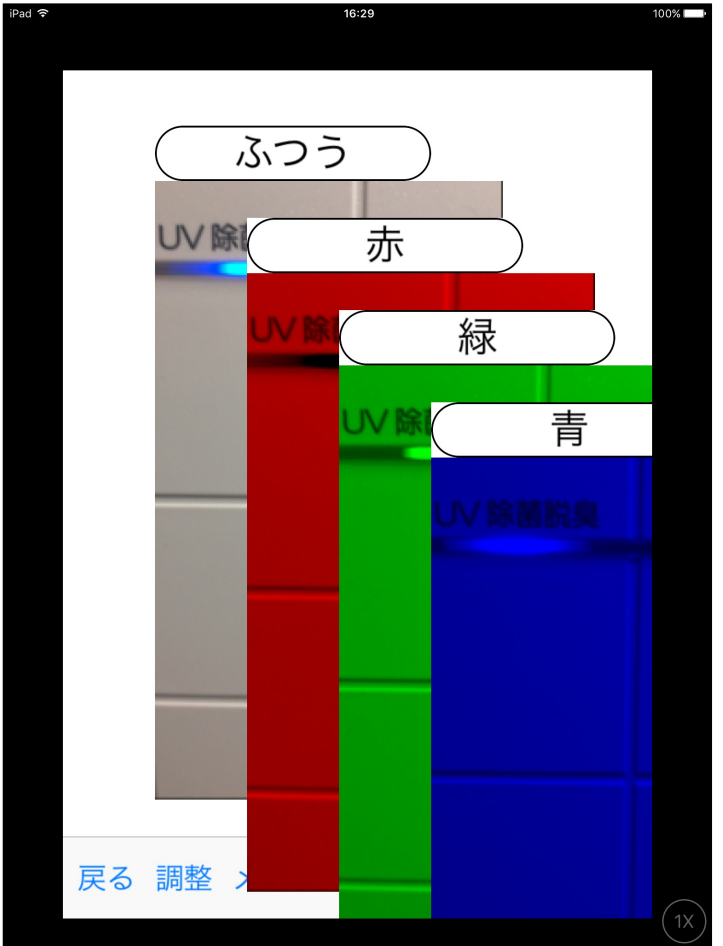


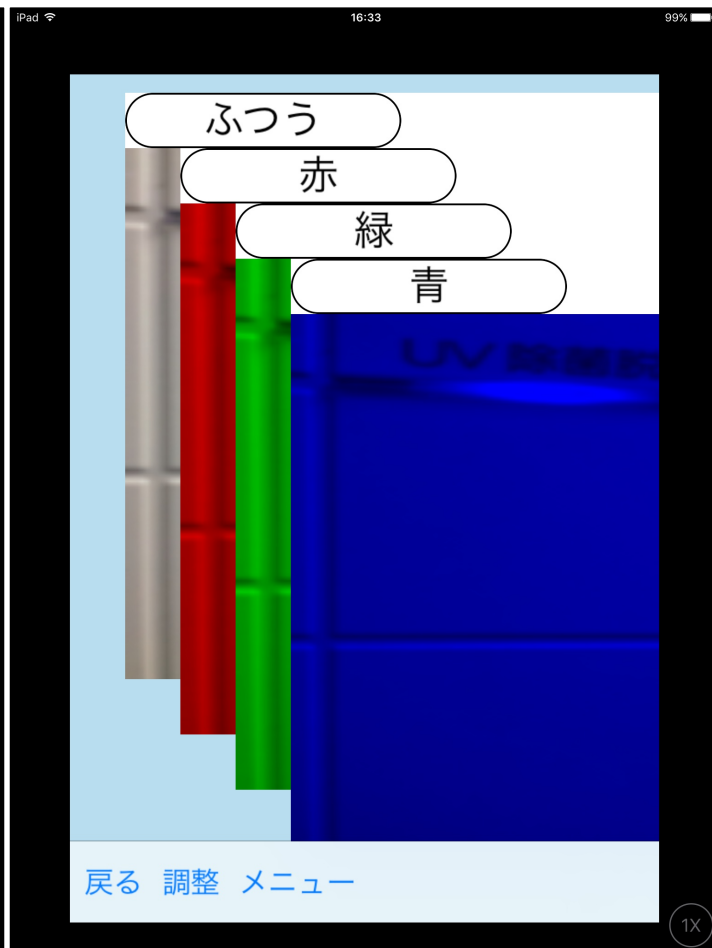
カメラ入力の場合、このように、ツールバー付きのカメラ入力となります。

停止ボタンを押すと、以下のように、写真(Photos)からの入力と同じ挙動になります。

入力はカメラ、扱いは静止画。

というものです。





リアルタイムカメラの場合、このように、カメラ画像が、ずっと、出っ放しになります。

リアルタイムカメラには、"ピッカー" コマンドはありません。

また、リアルタイムカメラの LMS 変換は、画像のサイズも小さく、画質も最低の品質のものです。画像の更新回数も少ないです。

このソフトウェアでの、LMS 変換は、わりと重い処理を行っているので、処理速度が追いつかないためです。

遅い原因は、3型2色覚用の変換に、処理量が多く、所要時間も大きいという方法を採用しているからです。

サイズが小さすぎる。

画質が悪すぎる。

という場合は、写真(Photos) か カメラ入力をお使いください。

写真 (Photos)

カメラ入力

リアルタイムカメラ

のいずれにしても、ビューを長押しすると、写真 (Photos) に保存する、サイドメニューが出てきます。